

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	こども相談室 てんとうむし大口南		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 18日		~ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 38名	(回答者数) 29名	
○従業者評価実施期間	2024年 10月 18日		~ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11名	(回答者数) 11名	
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活に密着した支援内容を、包括的・長期的な視点で提供する。	学習の時間帯のみの利用児もいるため、ひとつの領域のことにとらわれずに、生活面や対人関係などに関する支援内容も設定し、多方面から働きかけるようにしている。／週末のグループ活動との併用により、より包括的な支援ができる体制をとっている。	中高生の活動において気付いた視点を小学生活動に活かして、より良い支援・子どもたちの成長につながる内容にしていく。
2	保護者対応とのコミュニケーションを丁寧にとり、情報を共有している。	週末のグループ活動においては、月1回程度、内容や学年に応じた保護者セミナーを開催している。／療育のいろいろな場面を見学してもらえるようにした。／必要に応じてカウンセリングを入れる	グループ活動に参加していない利用者の保護者にも、セミナーに参加してもらえるようにする。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもにとって単純に楽しい活動ばかりではない	学習の時間のみ利用者もおり、そういった場合は「楽しみ」な時間と空間にはなりにくい。	グループ活動や祝日の特別療育を楽しみにしてくれている子もいるので、お知らせや掲示で周知していく。また、子どもたちや保護者が実際にどんなことを楽しみにしているのか、どういう活動があったら嬉しいかなど、アンケートを取って、活動計画の参考にしていく。
2	スタッフ間の情報共有が、全スタッフと出来ていない	夕方からのみの勤務者とは、利用者がある前で話をするのが難しい。	ミーティングでの必要事項は会議録に残し、全スタッフの閲覧を徹底する。
3			